

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 23日

神奈川県知事 殿

提出者

住 所 神奈川県小田原市高田477番地

氏 名 第一三共ケミカルファーマ株式会社
取締役小田原工場長 鈴木 敏郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0465-42-2174

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	第一三共ケミカルファーマ株式会社 小田原工場	自主管理番号 (1028)
事業場の所在地	神奈川県小田原市高田477番地	TEL(連絡先): 0465-42-2174
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)	

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	E16-化学工業 (具体的には) 医薬品製造業(医薬品原薬製造業)		
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	3503 百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円
	医療機関	病床数	床
	その他の業種	売上高	百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)		
③ 従業員数	236		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	自社処理 ・廃酸:焼却 処理委託 ・燃え殻:コンクリート固形化→埋立 ・汚泥:焼却→埋立 ・廃油:焼却→埋立 油水分離→助燃剤 ・廃プラ:破碎・選別→再資源化 ・木くず:破碎→再資源化 ・金属くず:焼却→埋立 ・ガラス屑:破碎・圧縮→埋立		



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物処理に係る管理体制は、廃棄物管理責任者を主に、各部門の廃棄物責任者が適切に廃棄物の取り扱い、発生抑制、分別の徹底、リサイクルを推進しています。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	11 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
① 現状	① 排出量	2,001.9 t	
	(これまでに実施した取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・発生抑制の為、製造工程内の収率向上、原材料や資材の効率的な利用に取り組み産業廃棄物の削減に取り組んでいる。 ・製造工程から発生する廃水類は、自社活性汚泥処理設備若しくは自社焼却設備にて焼却処理を行い、産業廃棄物の発生抑制に取り組んでいる。 ・発生抑制に関する教育、研修にて「マネジメントの目的・目標の周知」を実施している。 ・発生抑制の為、外部の環境情報を逐次確認し、又行政等からの情報収集を行っている。 	
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	10 種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
② 計画	① 排出量	2,915.9 t	
	(今後実施する予定の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・発生抑制の為、製造工程内の収率向上、原材料や資材の効率的な利用に取り組み産業廃棄物の削減に引き続き取り組む。 ・製造工程から発生する廃水類は自社活性汚泥処理設備若しくは自社焼却設備にて焼却処理を行い、産業廃棄物の発生抑制に取り組む。 ・発生抑制に関する教育、研修にて「マネジメントの目的・目標の周知」を実施する。 ・発生抑制の為、外部の環境情報を逐次確認し、又行政等からの情報収集を行う。 	

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	廃プラスチック類の分別を徹底し、新たにケミカルリサイクル可能な業者と新規契約を実施し、リサイクル率の向上と共に更なる分別を徹底した。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現状の廃プラスチック類の分別に加え、ボトルtoボトル可能な処理業者と新たに契約を締結し、発生するペットボトル(キャップの分別、内部の洗浄やラベルの取外し等)の水平リサイクル及び分別を推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)			
なし				
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)			
なし				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】			
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,754.6	t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
(これまでに実施した取組)				
焼却施設を自家運転し、製造工程から発生する廃水類は自社焼却処理を実施している。				
② 計画	【(令和5年度)目標】			
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2,778.0	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
(今後実施する予定の取組)				
引き続き、焼却施設を自家運転し、製造工程から発生する廃水類の自社焼却処理を継続する。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		

* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。

* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	247.3	t
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	19.6	t
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	166.9	t
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定業者への処理委託を開始している。 ・関東近郊の複数の委託業者から処理委託に関する情報収集を行うと共に相見積もりを取得し、種類及び性状に応じて適正な業者選定を実施。又、委託業者との委託契約締結前に「新規委託業者チェックリスト」を用いて施設の現地確認を行った後、契約を締結している。 		

* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。

【(令和5年度)目標】		
② 計画	⑩ 全処理委託量 137.9 t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量 24.4 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量 114.5 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量 t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 t	
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定業者への処理委託を推進していきます。 ・関東近郊の複数の委託業者から処理委託に関する情報収集を行うと共に相見積もりを取得し、種類及び性状に応じて適正な業者選定を実施。又、委託業者との委託契約締結前に「新規委託業者チェックリスト」を用いて施設の現地確認を行った後、契約を締結する。 ・原則1回/年、委託処理場を視察確認し、処理委託した廃棄物が適正に処理されている事を確認する。 		
※ 事務処理欄		

備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

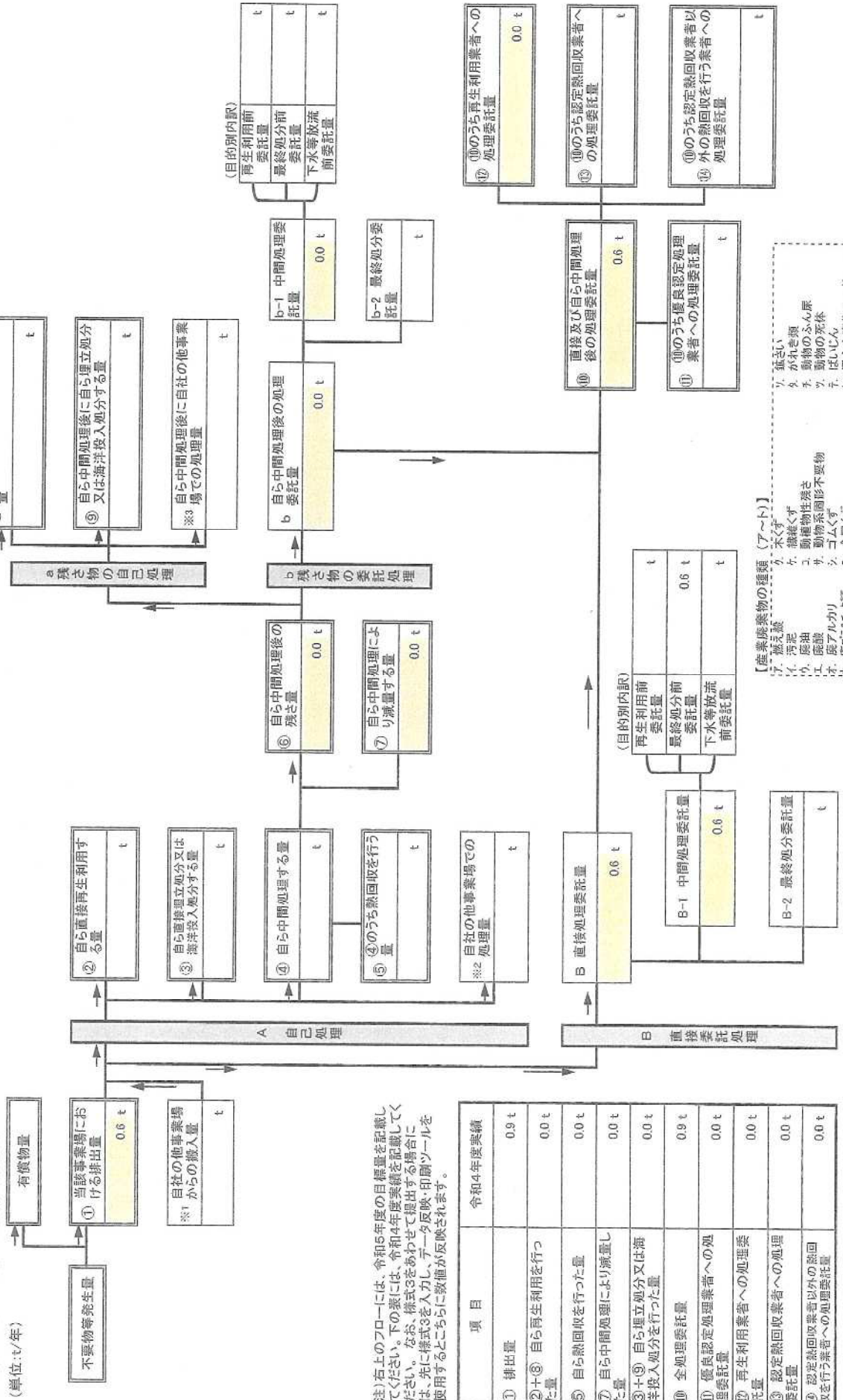
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
ア. 燃え殻

※ 本利用者は廃棄物の届出ごとに1枚の記録となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してご下さい。下の表には、令和4年度実績を記載してご下さい。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとごとごに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.9 t
②+⑥ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- ク. 動物性廃棄物
- ケ. 動物性廃棄物
- コ. 動物性廃棄物
- カ. 動物の死体
- シ. ばいじん
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・断熱器くず
- ソ. 磁器くず
- タ. 混合廃棄物その他

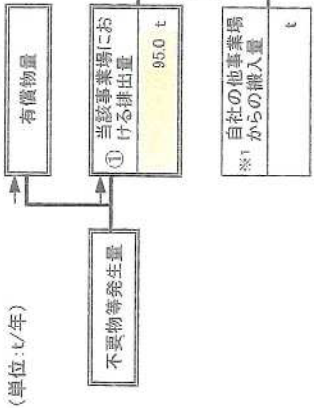
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
----------	-------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

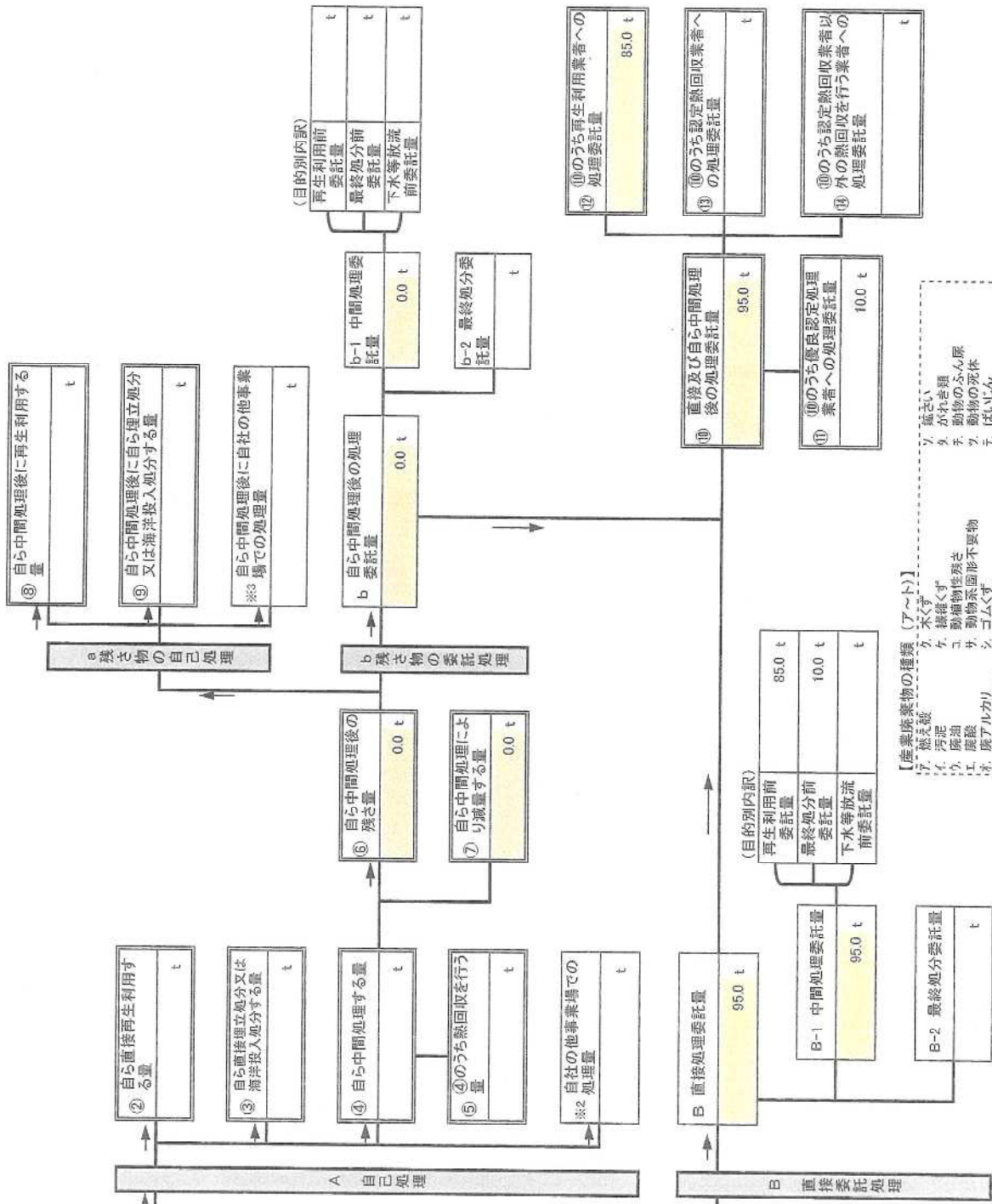


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	137.5 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら廃立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	137.5 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	2.8 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	137.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称: 第一三共ケキカルファーマ株式会社 小田原工場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃アルカリ
 - オ. 廃プラスチック類
 - カ. 繊維くず
 - キ. 繊維
 - ク. 動物性残さ
 - ケ. 動物性油脂
 - コ. 動物系固形不要物
 - サ. コムくず
 - シ. 金属くず
 - ス. 金属
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 雑さくず
 - タ. 灰
 - チ. 灰土
 - ツ. 動物の死体
 - テ. ばいじん
 - ト. 混合産業物その他

産業廃棄物処理計画書

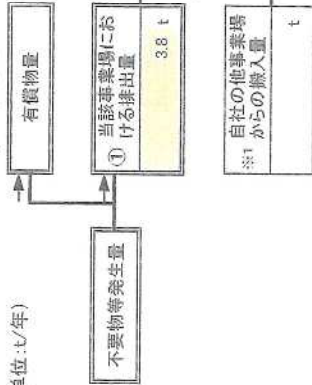
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
ウ、廃油

※ 本用紙は産廃物の種類ごとに1枚の品版となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別紙にて記載してください。

(単位: t/年)

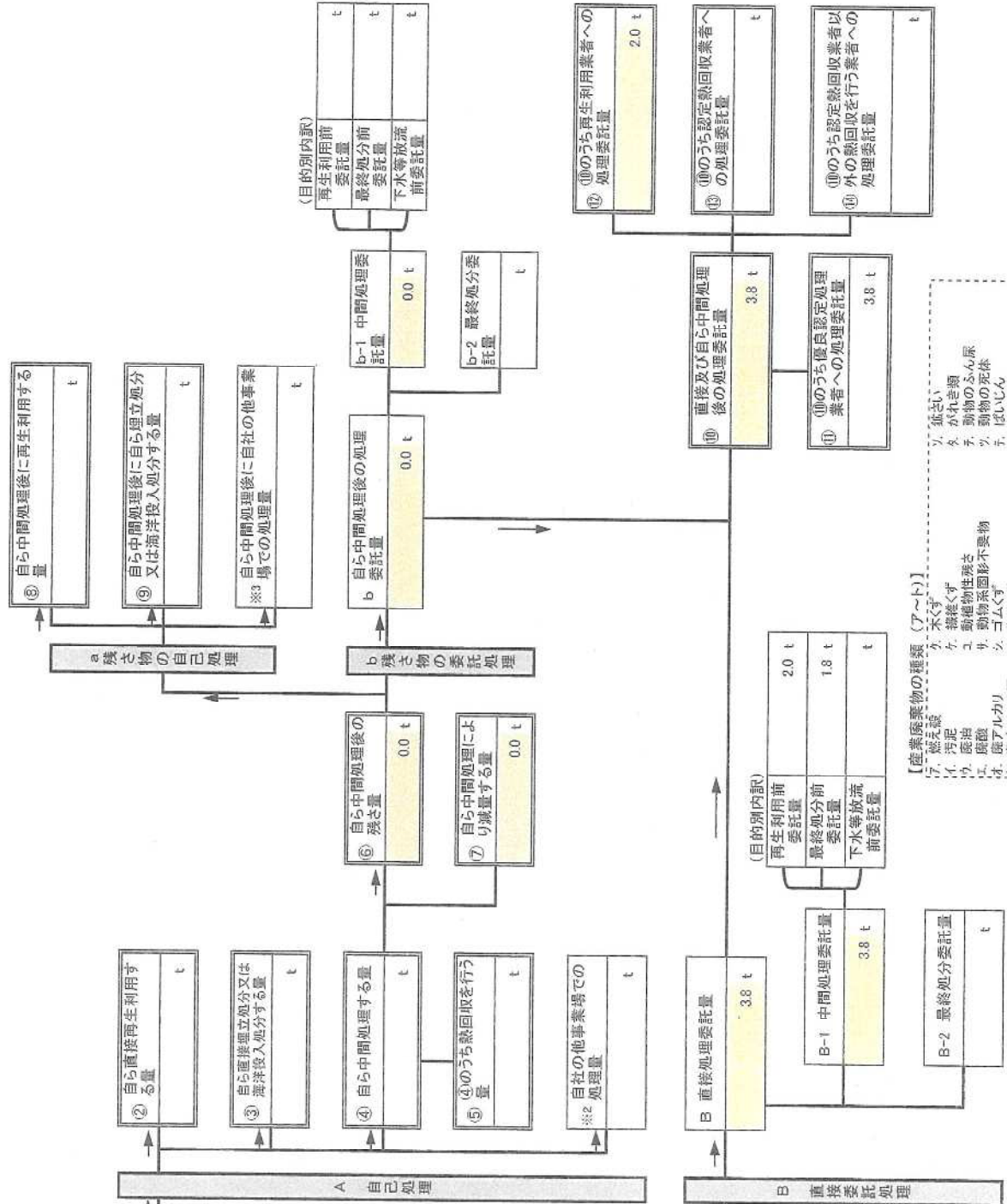


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載していただき、下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとごとからに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	71.3 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑤ 自ら焼立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
④ 全処理委託量	71.3 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	3.7 t
⑪ 再生利用者への処理委託量	2.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称： 第一三共ケミカルファーマ株式会社 小田原工場



【産業廃棄物の種類(ア～ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃アルカリ
- オ. 廃プラスチック類
- カ. 紙くず
- キ. 繊維くず
- ク. 動植物性残さ
- ケ. 動物系固形不要物
- コ. 動物の死体
- ク. コムくず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- シ. ばいじん
- ス. 金属くず
- ソ. 混合廃棄物その他
- タ. 灰
- チ. 灰汁
- ツ. 灰汁
- テ. 灰汁
- ト. 灰汁

産業廃棄物処理計画書

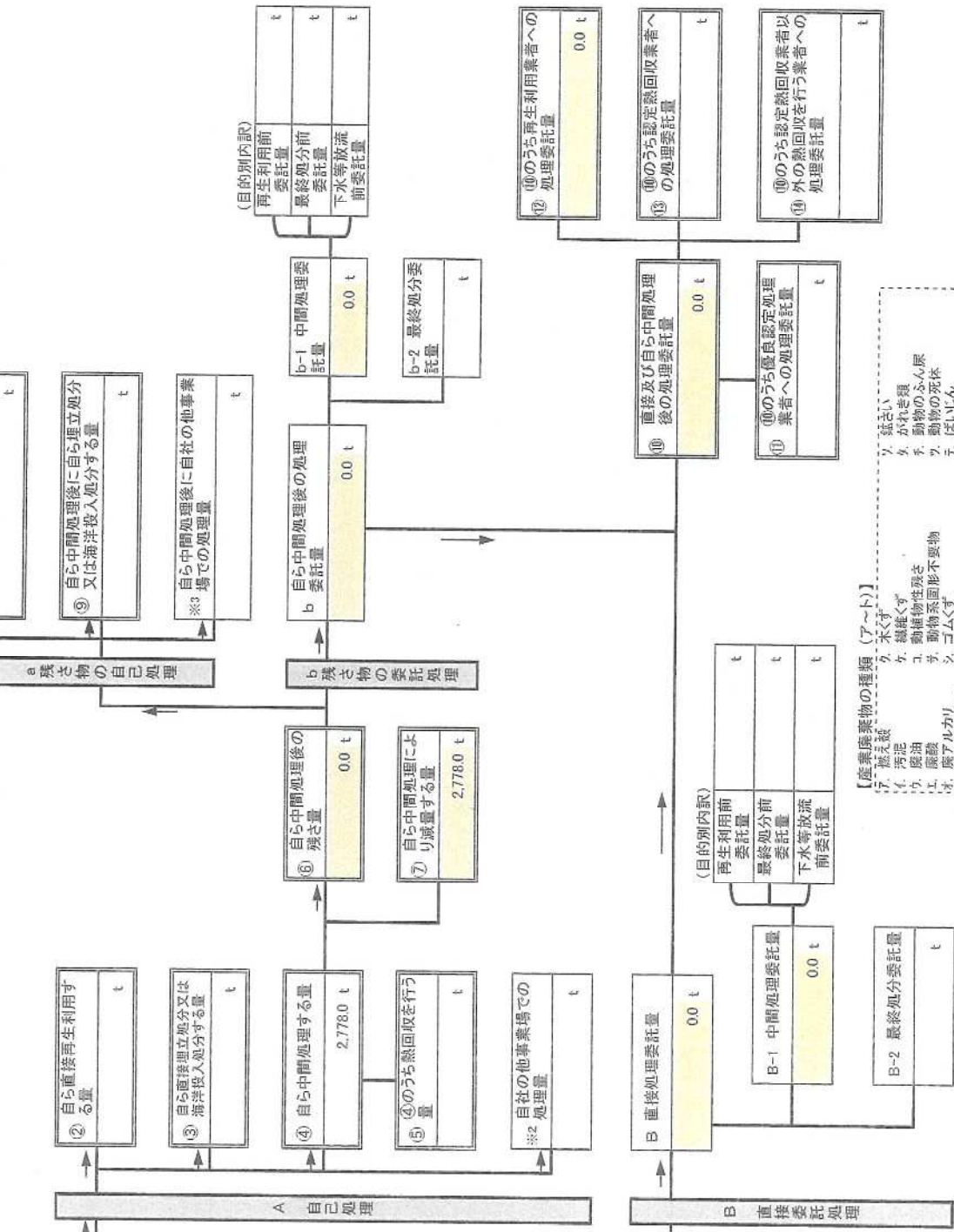
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類	工 廃材
① 当該事業場における排出量	2,780 t
② 自らの他事業場からの搬入量	t
③ 自らの他事業場からの搬入量	t

※1 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用することさらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	1,754.6 t
②+③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰	0.0 t
⑤ 自らの熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自らの中間処理により減量した量	1,754.6 t
③+⑤ ④+⑥ ⑧+⑨ ⑩+⑪ ⑫+⑬ ⑭+⑮ ⑯+⑰	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 紙くず
 - ク. 繊維くず
 - ケ. 動物性脂肪
 - コ. 動物の死体
 - サ. 動物の死体
 - シ. コムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ. 雑さい
 - タ. がれき類
 - チ. 動物のふん尿
 - ツ. 動物の死体
 - テ. はいしん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

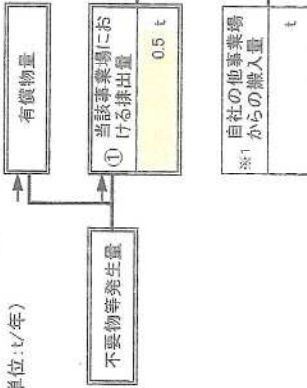
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【産業廃棄物の種類】
オ、廃アルカリ

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別紙に記載してください。

(単位: t/年)

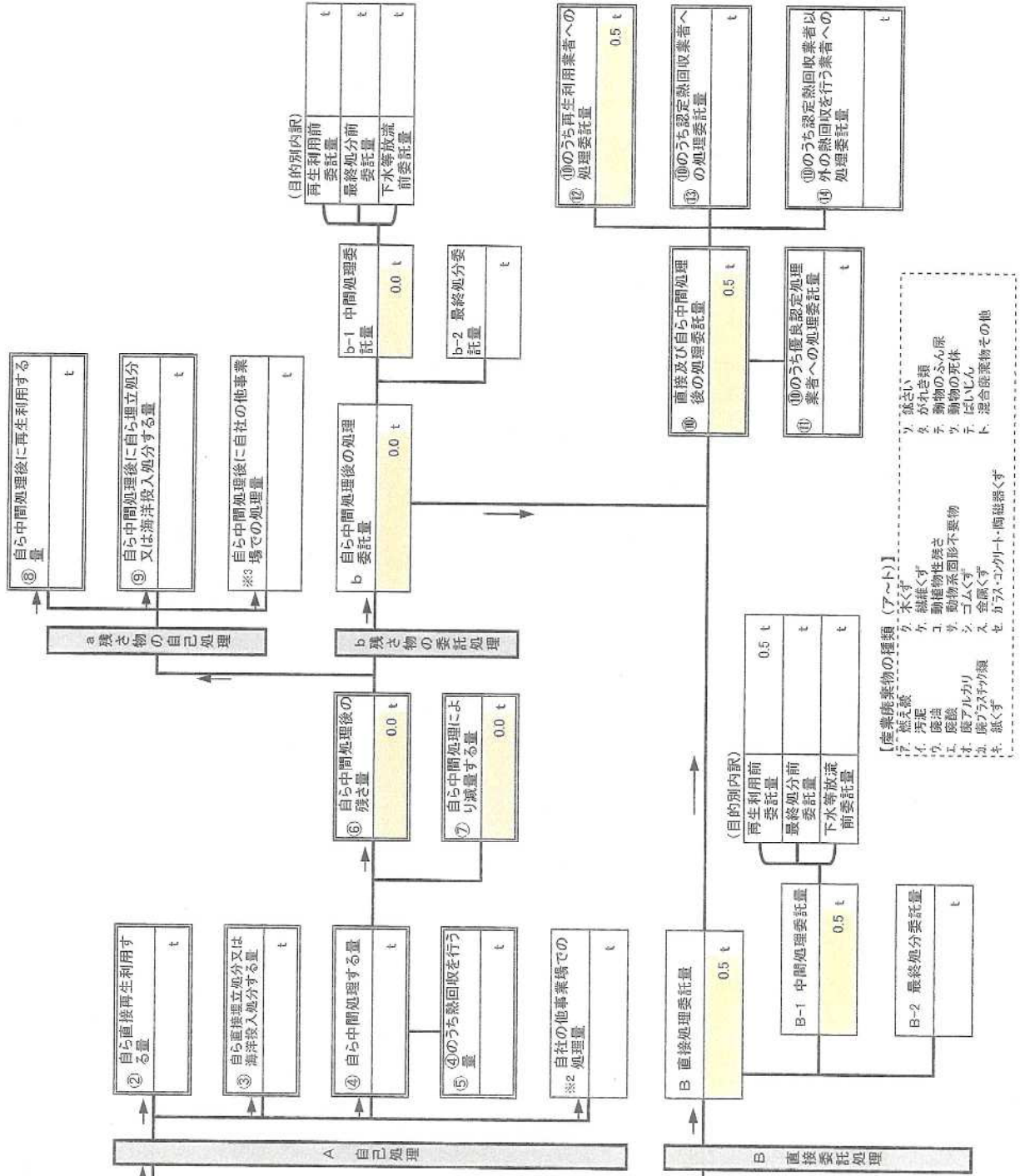


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をおわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.2 t
②+⑤ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称 : 第一三共ケミカルファーマ株式会社 小田原工場



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア. 燃え殻
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 金属くず
 - キ. 繊維くず
 - ク. 動植物性廃棄物
 - ク. 動物系固形不要物
 - シ. コムくず
 - ス. 空容器
 - セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - リ. 灰土
 - ケ. 粉じん
 - コ. 動物のふん尿
 - ク. 動物の死体
 - ケ. ばいじん
 - ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

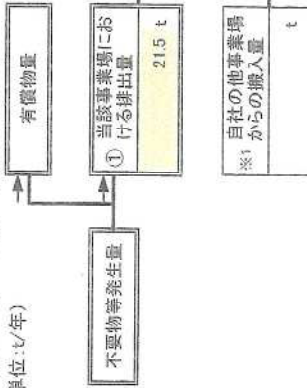
別紙処理フロー

令和15年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	カ、廃プラスチック類
------------------	------------

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに目標の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

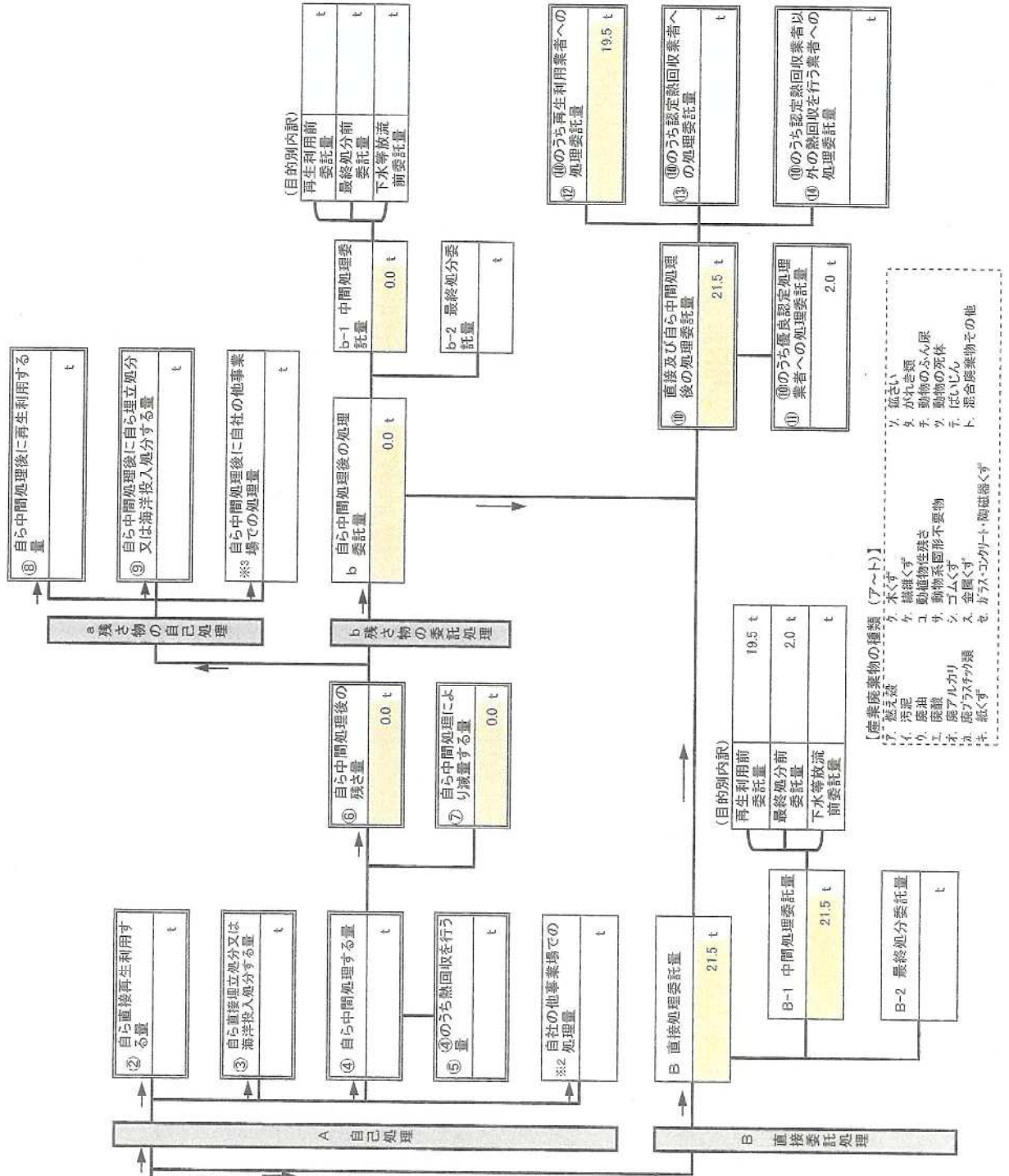


注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	19.2 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により削減した量	0.0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	19.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	5.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	17.5 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称： 第一三共ケミカルフアーマ株式会社 小田原工場

2-2	法定	自主
	○	

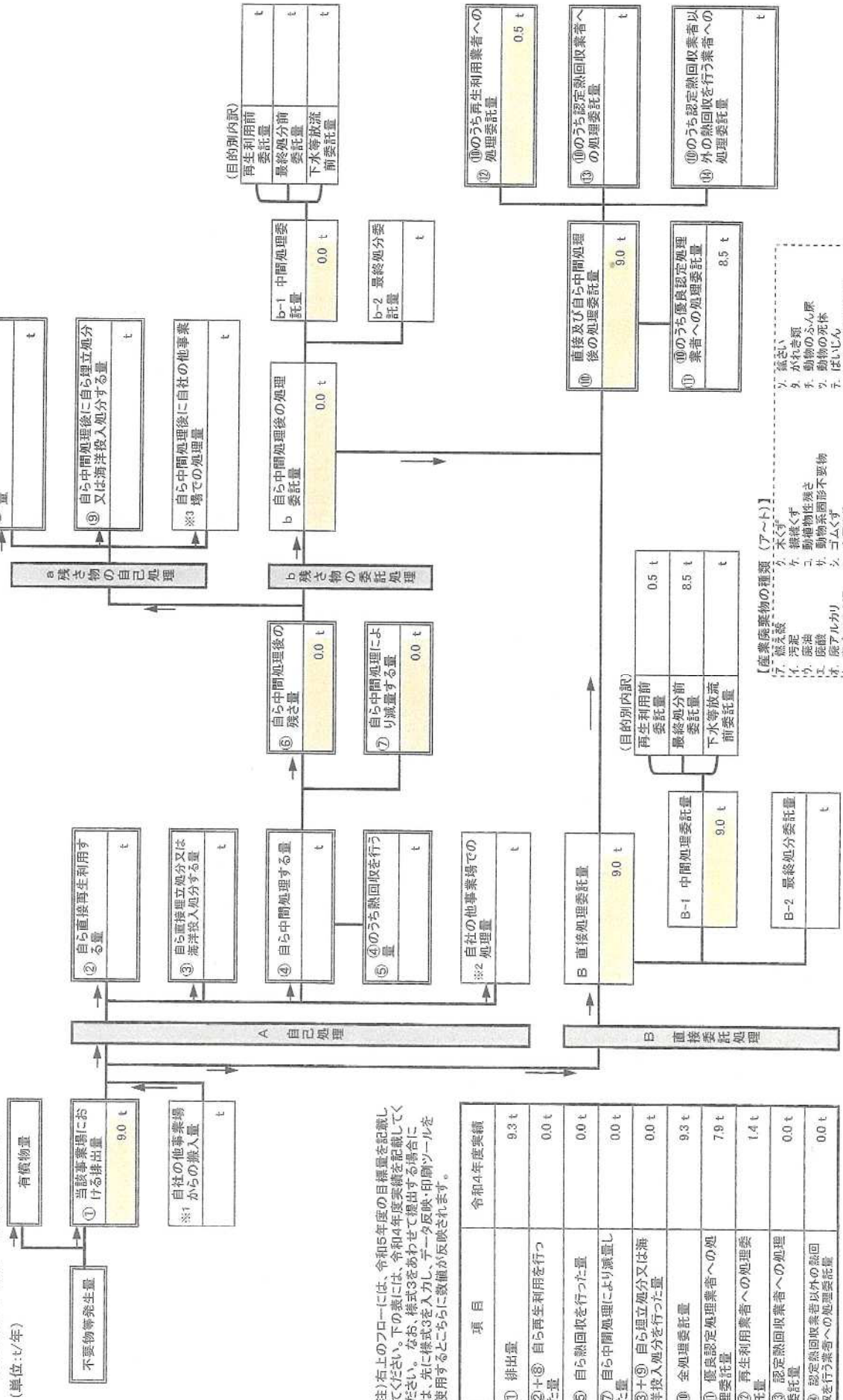


産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 ス、金属くず
 ※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに目標の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。
 (単位: t/年)



- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア、 金属くず
 - イ、 廃油
 - ウ、 廃酸
 - エ、 廃アルカリ
 - オ、 廃プラスチック類
 - カ、 紙くず
 - キ、 繊維くず
 - ク、 動物のふん尿
 - ケ、 動物の死体
 - コ、 動物性残渣
 - サ、 廃アルカリ
 - シ、 金属くず
 - ス、 金属くず
 - セ、 カラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ、 雑草
 - タ、 不燃物
 - チ、 可燃物
 - ツ、 動物のふん尿
 - テ、 動物の死体
 - ト、 ばいじん
 - ト、 混合廃棄物その他

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をおわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	9.3 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	9.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	7.9 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

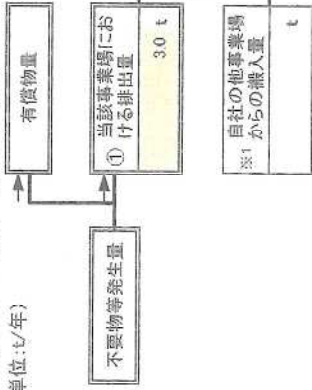
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業 七. ガラス・コンクリート・陶磁器く
廃棄物の種類
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃
棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

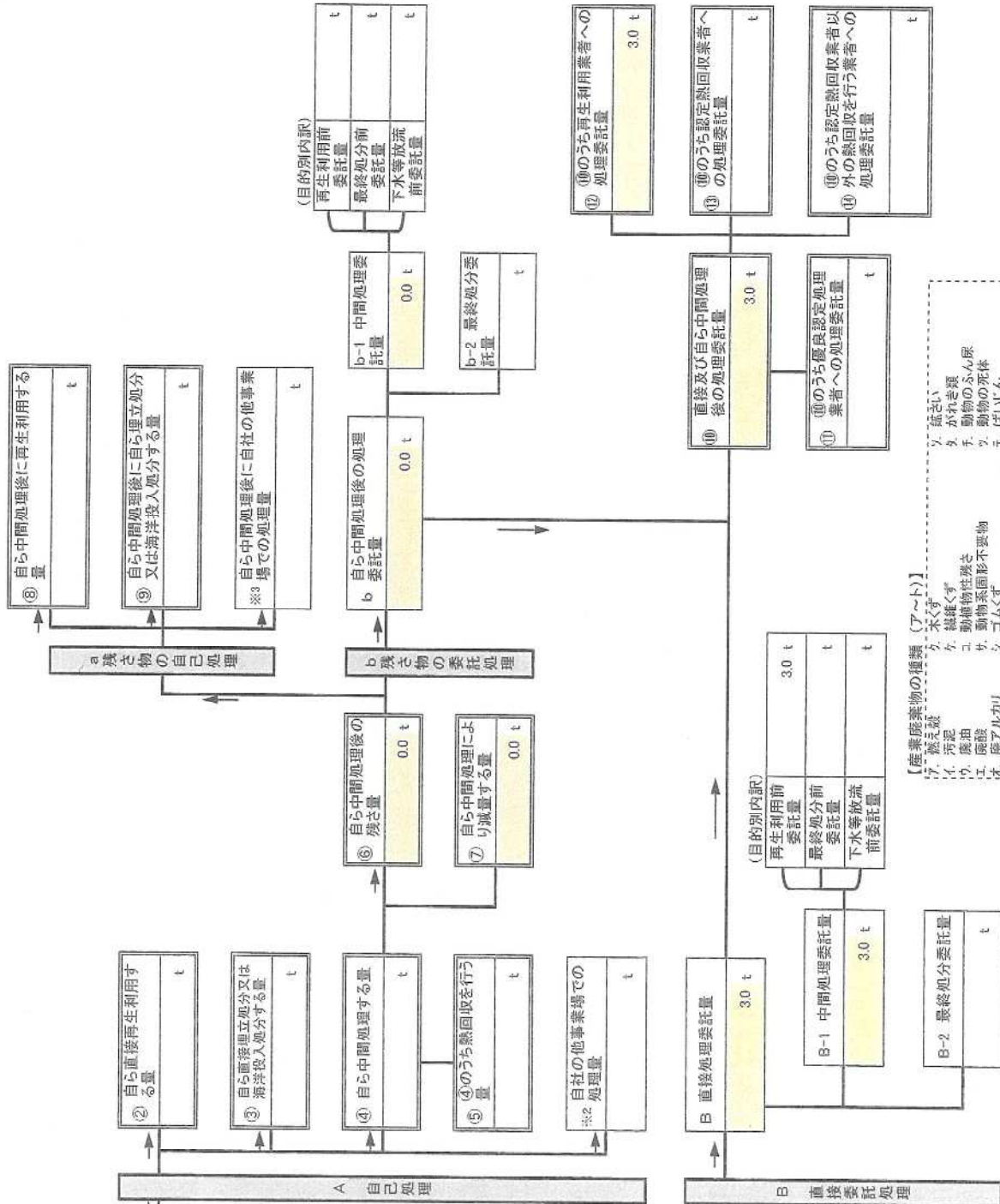


注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載して
ください。下の表には、令和4年度実績を記載してく
ださい。なお、様式3をあわせて提出する場合に
は、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを
使用するところにさらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	3.3 t
②+③ 自ら再生利用を行っ た量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量し た量	0.0 t
③+⑤ 自ら埋立処分又は海 洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	3.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処 理委託量	0.1 t
⑫ 再生利用者への処理委 託量	3.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理 委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回 収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称： 第一三共ケミカルファーマ株式会社 小田原工場



- 【産業廃棄物の種類(ア〜ト)】
- ア 廃えん
 - イ 汚泥
 - ウ 廃油
 - エ 廃アルカリ
 - オ 廃プラスチック類
 - カ 紙くず
 - ク 繊維くず
 - ケ 動物性残渣
 - コ 動物糞尿
 - ク 動物性残渣
 - シ スラック
 - ス 金属くず
 - セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず
 - ソ 廃えん
 - タ 汚泥
 - チ 廃油
 - ツ 廃アルカリ
 - テ 廃プラスチック類
 - ト 紙くず
 - ト 繊維くず
 - ト 動物性残渣
 - ト 動物糞尿
 - ト ばいじん
 - ト 混合廃棄物その他

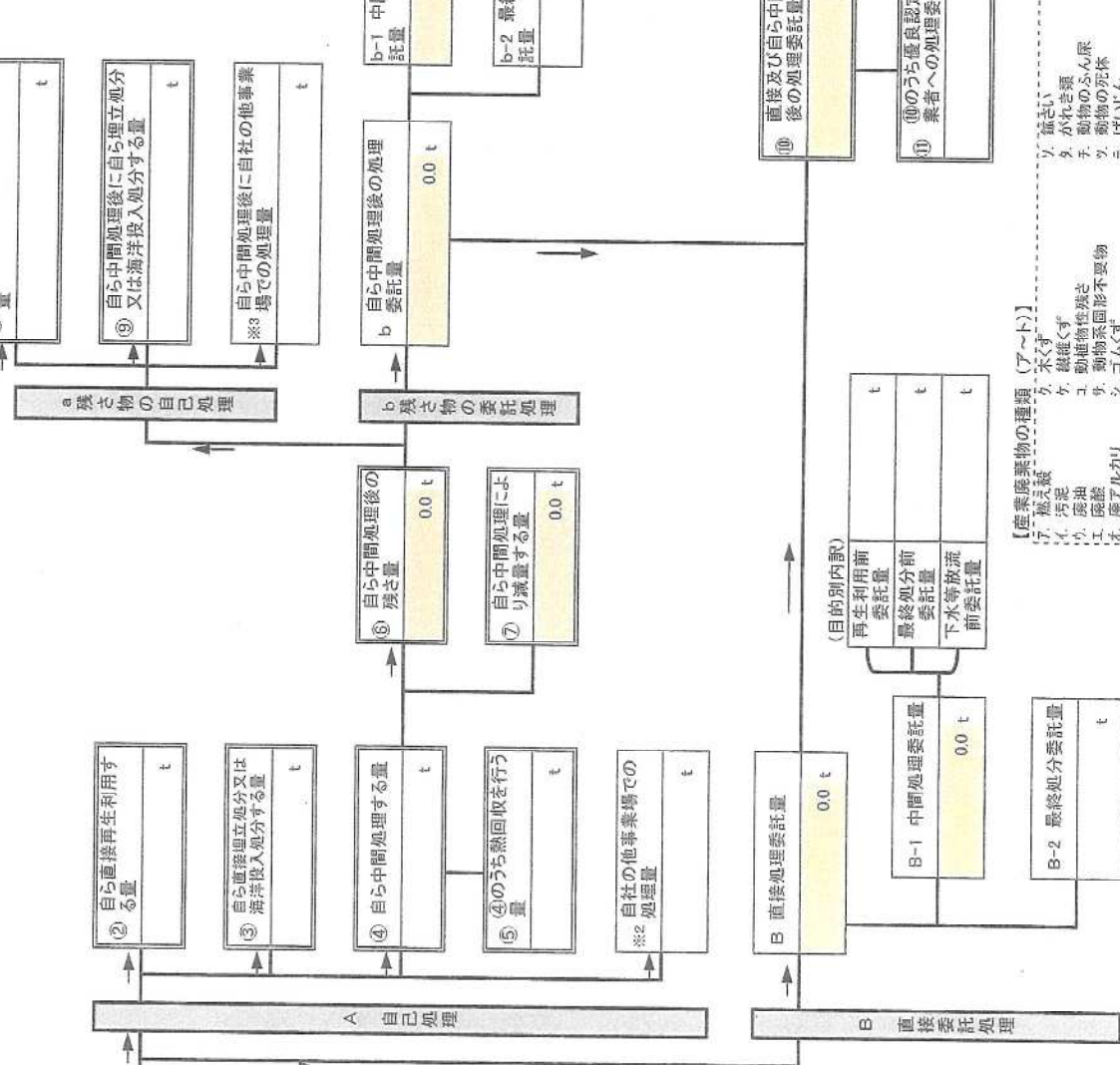
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ、がれき類
不要物等発生量	① 当該事業場における排出量 0.0 t
有量物量	※1 自社の他事業場からの搬入量 t

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに目標の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.3 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.3 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

- 【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
- ア 金属類
 - イ 非金属類
 - ロ 廃油
 - リ 廃液
 - ル 廃アルカリ
 - レ 廃プラスチック類
 - ロ 繊維くず
 - ケ 動物性骨殖
 - コ 動物系固形不要物
 - ク 動物のふん尿
 - ケ ばいじん
 - コ 土
 - カ 混合廃棄物その他

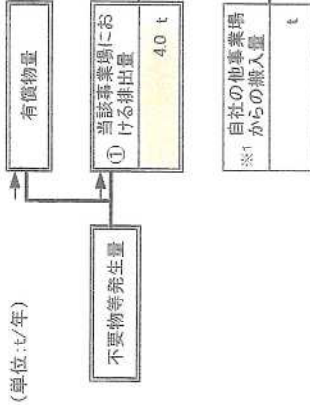
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類
ト、混合廃棄物その他

※ 本邦固有産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

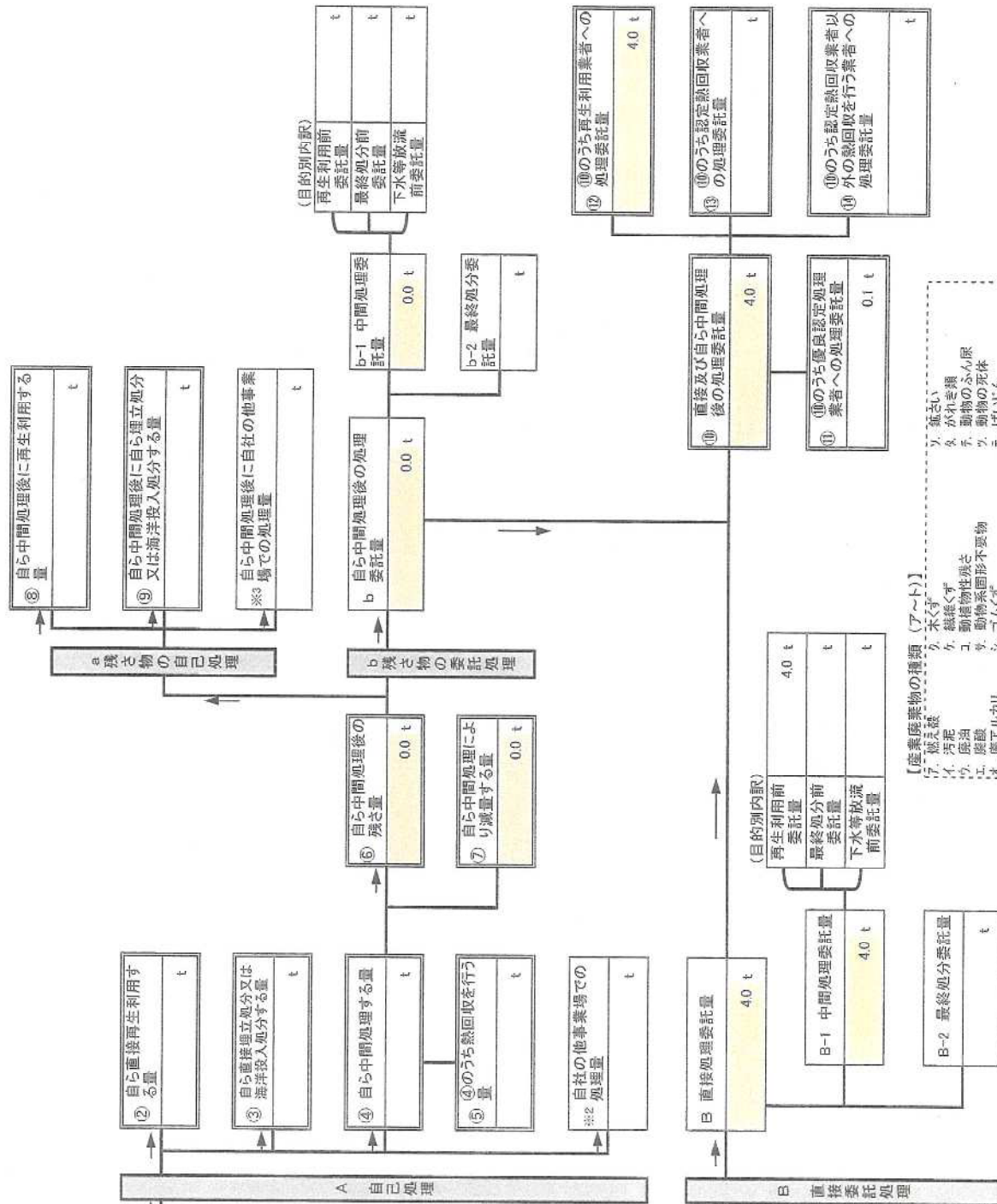


(注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとさらに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	4.6 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+④ 自ら焼立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	4.6 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t
⑩ 再生利用業者への処理委託量	4.6 t
⑩ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑩ 認定熱回収業者以外への熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称： 第一三共々ミカルファーマ株式会社 小田原工場



【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】

- ア、 紙くず
- イ、 汚泥
- ウ、 廃油
- エ、 廃酸
- オ、 廃アルカリ
- カ、 廃プラスチック類
- キ、 紙くず
- ク、 繊維くず
- ケ、 木くず
- コ、 動物性脂肪
- ク、 動物のふん尿
- ケ、 動物の死体
- コ、 ゴムくず
- カ、 ばいじん
- キ、 混合廃棄物その他